

「水循環に関するアンケート」 集計結果

5月に実施し、ご協力いただいた「水循環に関するアンケート」の集計結果を公表いたします。会員各位の水循環への意識や思いは多様であると言えますが、水循環協として改組した本会が、これから活動していくうえで、出発時点での状況をとらえるひとつの視点なるかと思えます。

回収状況・回答者属性

	送付数	回答数	回収率
郵送	16	9	56.3%
Google Form	67	17	25.4%
合計	83	26	31.3%

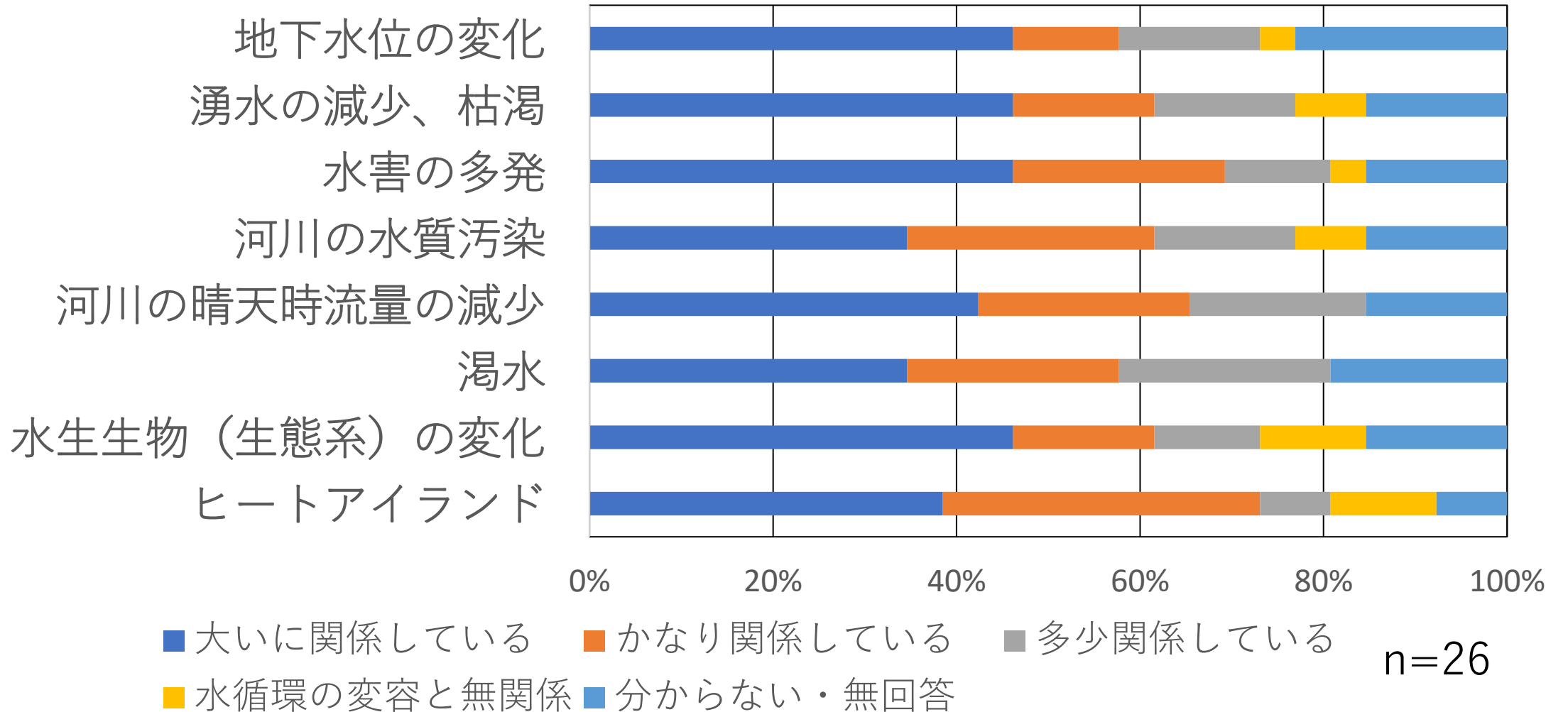
年齢範囲	45 ~ 85
平均	69.6
中央値	69.5

男性	24
女性	2

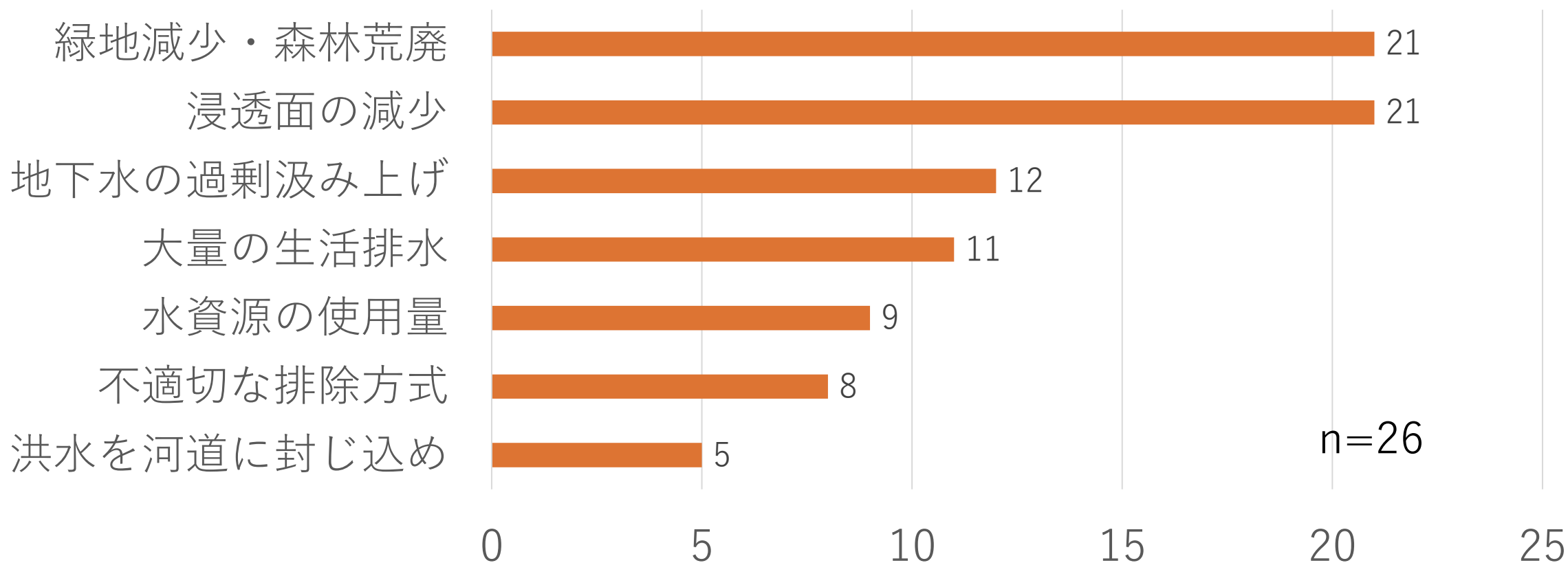
水循環流域認知			
居住地の流域記述		23	88.5%
水道水源		21	80.8%
排水先（下水処理場）		22	84.6%
雨水排水		19	73.1%
排除方式	分流式	10	84.6%
	合流式	12	

水循環への関心の有無	
あり	24
無し	2 困ることを経験していない／関わりを考えたことがない

流域で生じている現象と水循環変容との関係



健全性を損なうことにつながる水循環の変容



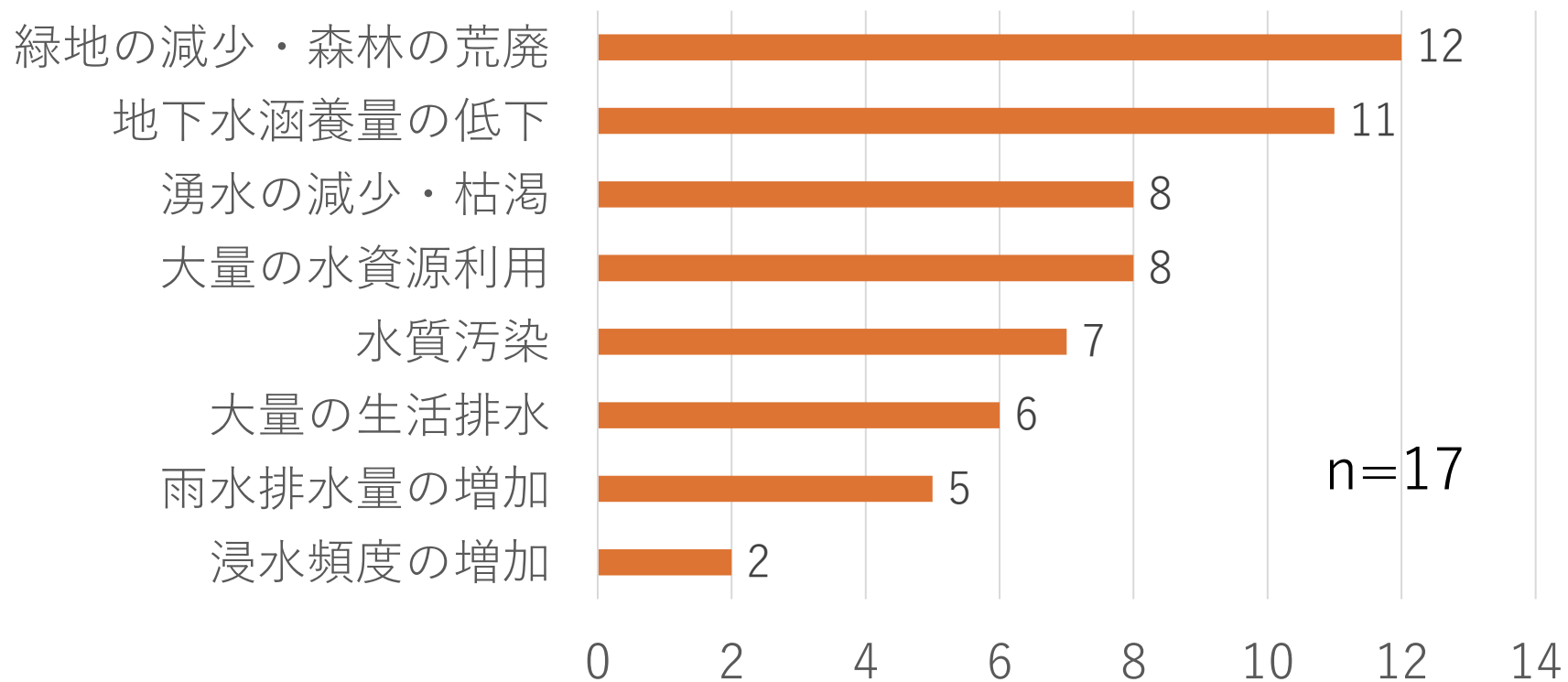
- その他：ダム建設、温暖化の進行（数名）、改善傾向にある
- 健全の定義が感覚的という意見があった

居住地の流域の水循環

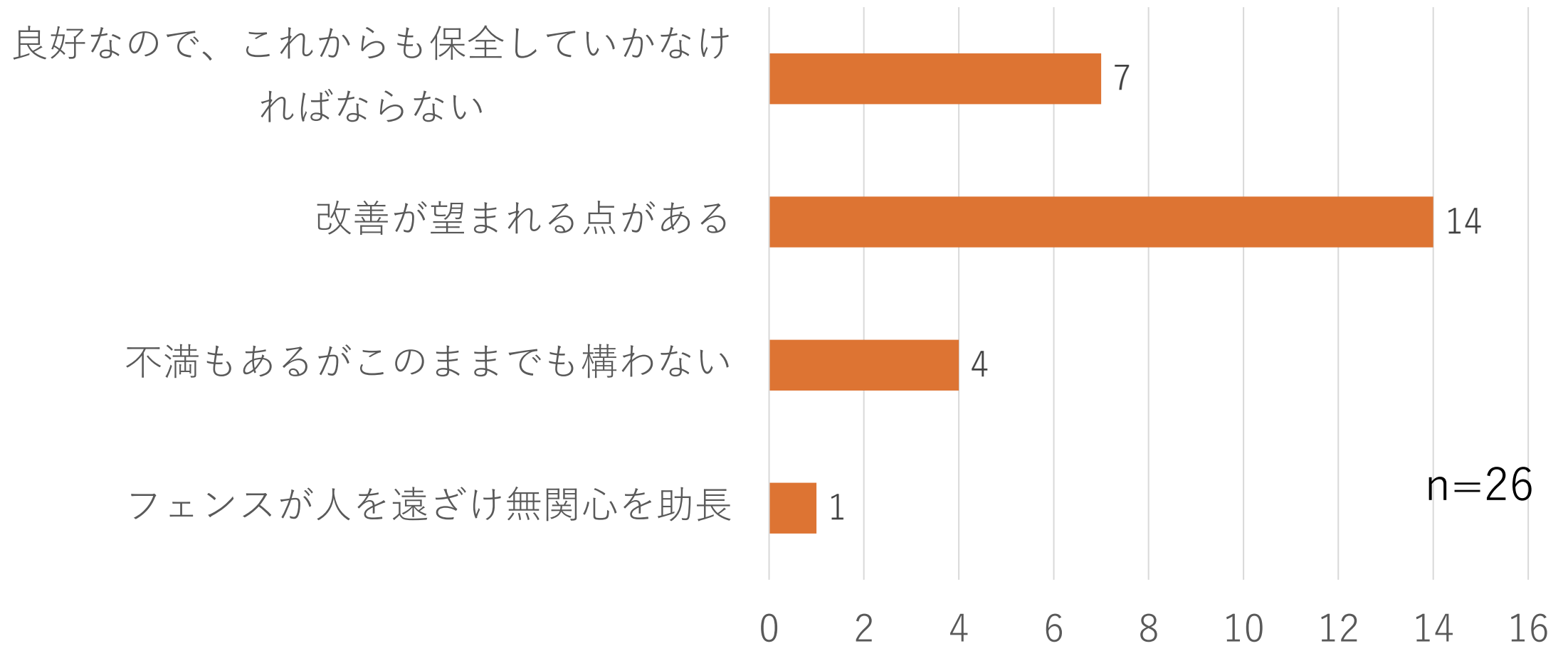
水循環は健全だと思うか

健全だと思う	8
健全だと思わない	17

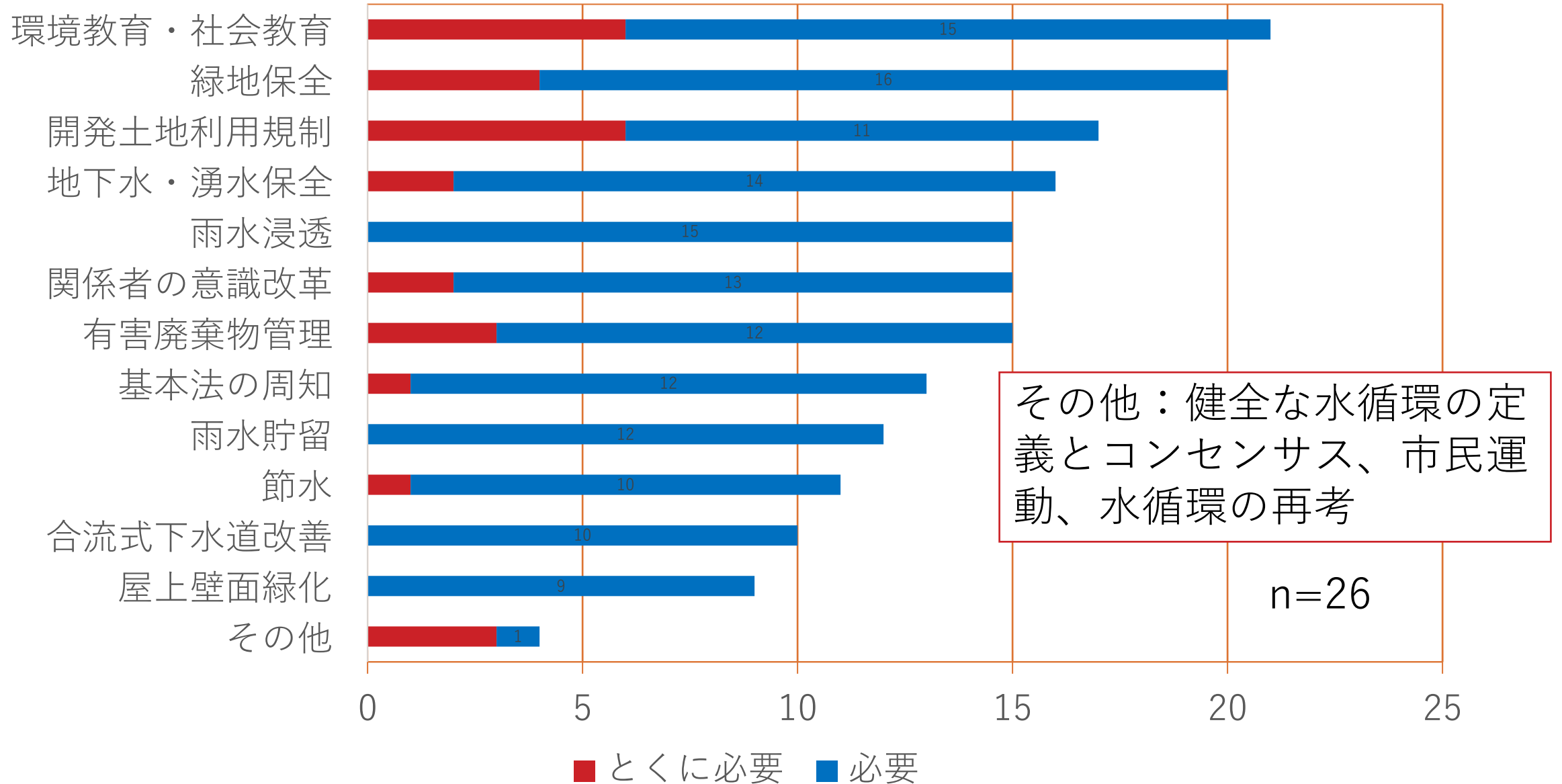
居住する流域で何が不健全なのか？



居住地流域の水（辺）環境

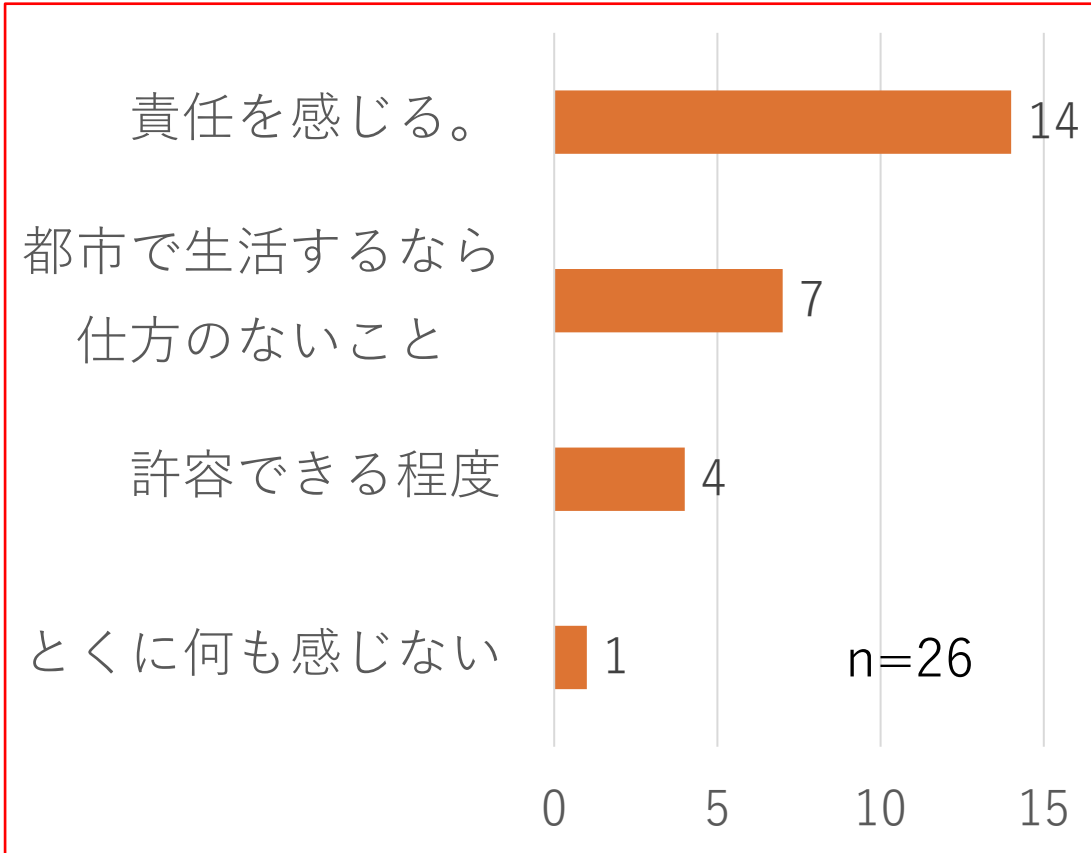


水循環健全化方策

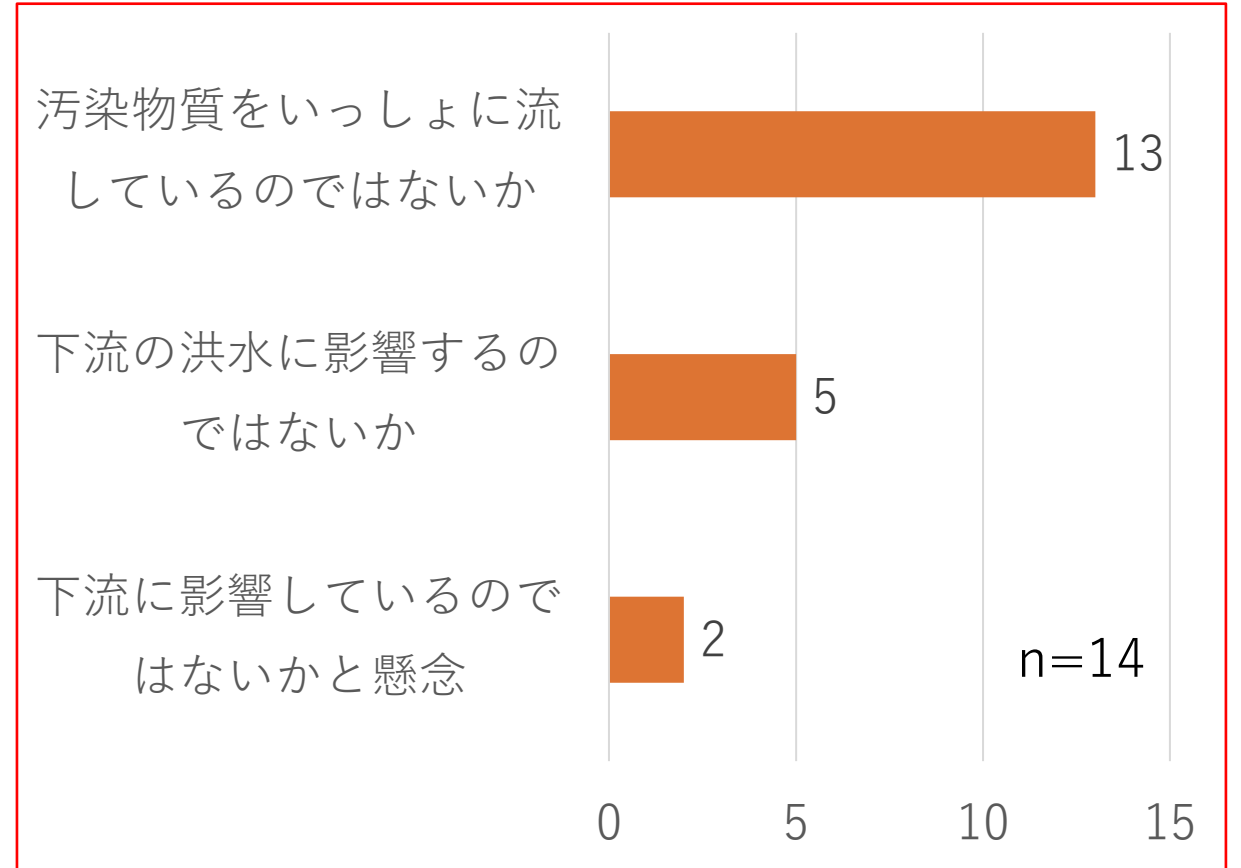


排水責任

都市化した流域では、水循環の変容により、さまざまな弊害がもたらされている可能性があります。このようなことについてどのように感じますか。

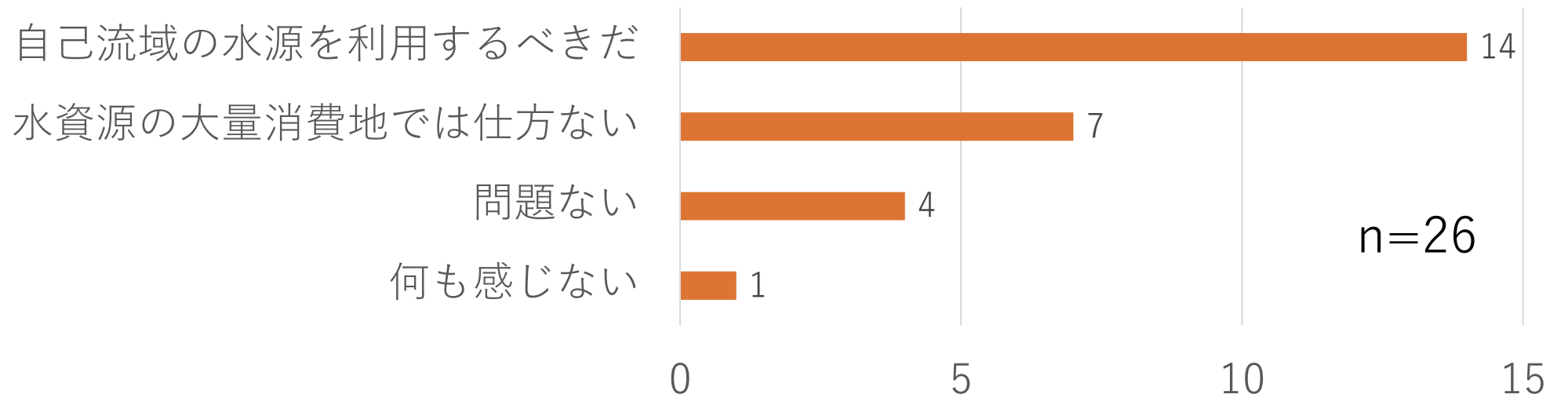


「責任を感じる」と回答された方へ。ご家庭の敷地（屋根や舗装面）に降った雨は、雨水管、流域内の河川等を通じ下流へ流れていきます。こうした雨水排水を意識することはありますか。



水循環と流域社会（1）

広域的な利水体系



その他の対応策など

水資源の総合的科学的な管理することが重要

雨水の流域管理・排除より蓄水の研究

広域的な水循環が直ちに「不健全」というわけではない

表流水の水利権を他県（群馬県等）に返却すべき

自己中心的利便性で水の人工的な移送はよろしくない

東京都は東京湾の海水淡水化により賄うべき

山野の存在を見直し有用性を問い直す

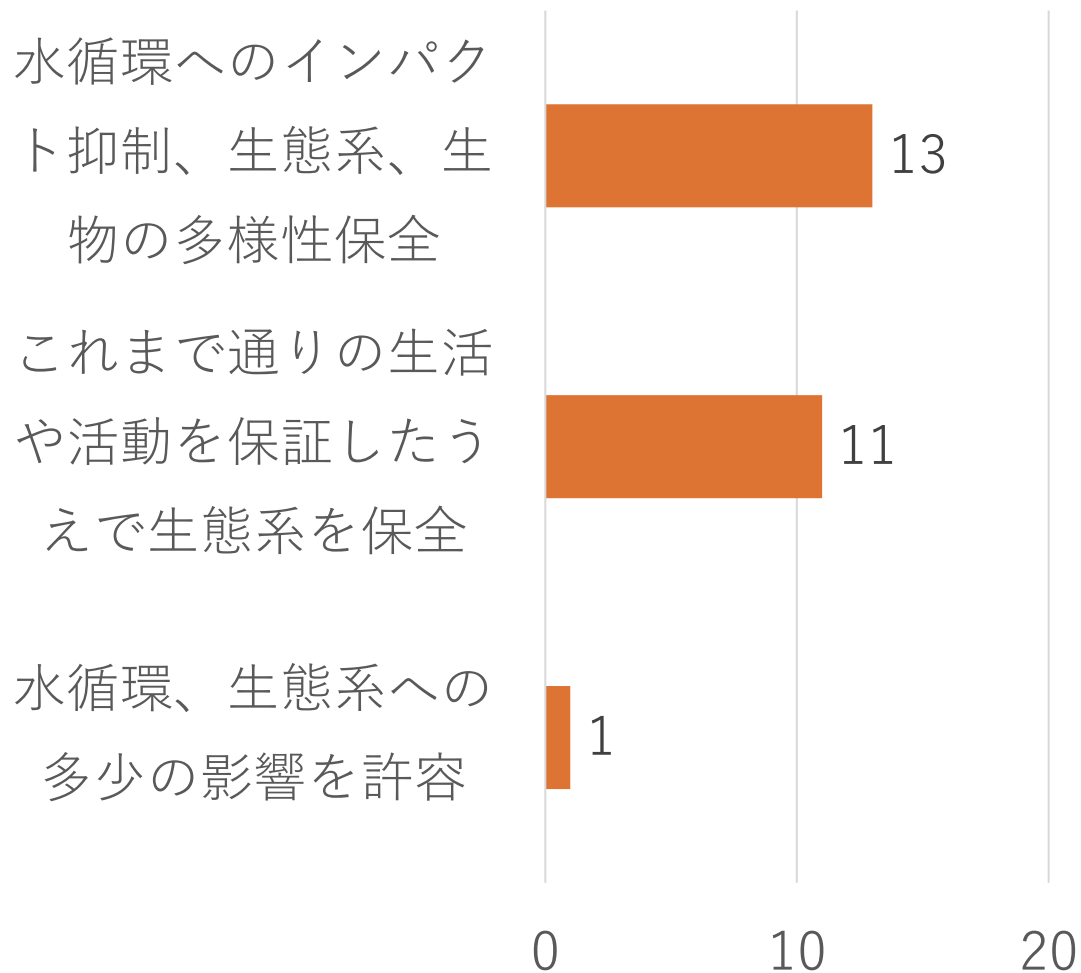
経済・政治を絡め、総合的な複眼の目をもって活動したい

適正な水利用のためにも、一極集中から多極分散へ

水循環と流域社会 (2)

n=26

流域社会からのインパクト



「我慢」の程度

